

2017年(平成29年)8月15日(火)

延期求めて市民集会

三島駅南口再開発 地下水、景観を懸念

三島市が進める三島駅南口再開発の延期を求める市民集会が13日夜、三島市大宮町の三島市民生涯学習センターで開かれ、約50人が参加した。主催は同市のNPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)で、再開発で地下水遮断や富士山の景観阻害の恐れがあるとしている。再開発「反対」ではなく、話し合いを

重ねより良い計画を作るため「延期」を求めるといふ。GW三島は集会で、①ホテル建設予定の西街区(約3400平方メートル)について工事による地下水の影響を監視する「地下水監視委員会」を9月上旬に設立する②マンション建設構想がある東街区(約1・3畝)について独自に地下水調査を実施

する専門委員会を10月に設立する——と明らかにした。渡辺豊博専務理事は「三島駅前に水の公園を作った時は100回以上、源兵衛川再生では200回以上話し合った。市民が集まり情報交換をし合えばより良い整備計画ができるはず。街の破壊の恐れがある再開発を急いで進める必要性はない」と主張。「市が東街区の再開発を強行するなら、豊岡武土市長のリコール開始も検討する」と述べた。

【石川宏】



三島駅南口再開発の延期を求め開かれた市民集会
＝三島市大宮町の三島市民生涯学習センターで